

文教厚生常任委員会報告

令和3年3月26日
委員長 平木 尚子

令和3年3月8日に文教厚生常任委員会を開催し、執行部から新型コロナウイルス感染症に関する報告を受けましたので概要を報告します。

予防健診課

予防健診課長より、コロナ対応の経過について、福岡県は2月28日に国の緊急事態宣言対象区域から解除されたが、病床使用率がステージ3相当にとどまっていることから、不要不急の外出自粛や飲食店の営業時間短縮の要請を3月21日まで延長。古賀市では、3月7日まで公共施設の利用は午後8時までとする等、緊急事態宣言下での対応を継続。3月5日の新型コロナウイルス対策本部会議において、市民や事業者への感染防止対策の徹底のお願い、公共施設の利用及び市の行事は午後9時までとする等の対応を決定したとの報告。

新型コロナウイルス対策係長より、ワクチン接種の現在の状況について、接種の問い合わせに対応するため、市のコールセンターをサンコスモ古賀内に3月10日から設置。専用電話にて相談や接種券配布後からの接種予約受付に対応。接種予約について、接種券到着後、電話またはインターネットで申し込む。その際に接種券に同封された接種場所のリストから希望する接種場所を予約。接種場所は個別医療機関として約20か所、集団接種会場としてサンコスモ古賀、その他として高齢者施設、障がい者施設等があり、施設入所者は嘱託医や協力医と調整の上で施設内でも接種可能。高齢者施設従事者はワクチン供給量次第では同時接種が可能。ワクチン配分の流れについて、各医療機関のワクチン必要数を市が集約、市が国のワクチン接種円滑化システム「V-SYS」に登録。県からサンコスモ古賀にワクチンが配分され、ディープフリーザーで保存。その後、市内の個別医療機関等接種場所に市が委託する運送会社によって配送予定。各接種場所で冷蔵保存。接種順位の考え方は、現在接種が進められている医療従事者が優先順位1位。次は高齢者であり、接種開始前に接種券送付。その次に基礎疾患を有する人、高齢者施設の従事者、ワクチン供給量次第では60歳から64歳の人を優先接種の対象となる。それ以外の人はその後となる。接種の対象者は16歳以上の者。期間は令和4年2月28日まで。使用するワクチンは、現時点でファイザー社のワクチン。集団接種会場は主にサンコスモ古賀。入口部分で受付、予診票の記入、事前相談を行い、健康状態に相談があれば保健師が対応し、その後、予診や接種を行い、状態観察を行いながら2回目の予約受付を行う。今後、集団接種のリハーサルを検討しているとの報告。

委員より、接種券発送時期はとの問いに、国のスケジュールが確定していないため未定。予約の際の時間帯指定はあるのかとの問いに、時間帯の区切りに変更が生じる場合もあるので最初に送付するリストに時間帯を記載するかを検討中。実際の予約時には時間帯を指定してもらうように考えている。中学校体育館での集団接種はとの問いに、サンコスモ古賀が使用できない場合の使用依頼を学校に行っている。医療機関でのワクチンの保存期間についての問いに、冷蔵保存で5日間。かかりつけの病院への予約についての問いに、市のコールセンターやインターネットで予約。かかりつけ患者のみ接種可能な医療機関には直接連絡をしてもらうよう検討しているとのこと。

以上、文教厚生常任委員会での新型コロナウイルス感染症に関する報告を終わります。